

◆宣教研究所委員会◆

今期、5つの研究テーマを決定

第2回宣教研究所委員会会議録案を承認し、7月1日に教団小会議室において、全委員の出席と道家紀一担当幹事の陪席により開催された。岡本知之委員長の開会祈禱に続き、第1回委員会議事録案を承認した。次に、今総会期の研究テーマについて事前に各委員から寄せられた研究テーマ案を小林光書記がまとめた資料を基に委員会全員が意見を述べた。

以下は主な発言内容である。家族への伝道、教会間の連帯と相互牧会、教会の霊性、ティボーションのあり方、ダウンサイズして行く教団・教会のあり方、キリスト教

以上の意見を集約し、5つの研究テーマに絞った。①「教会の霊性」、②「教会のダウンサイジングの問題」、③「日本人の宗教性とキリスト教」、④「教会と付属施設」、⑤「SNSと伝道」。今回の委員会において、これらのテーマに相応しい研究員候補を挙げ、研究チームを組織すること

を今後の課題とした。続いて、日本基督教団宣教研究所発行の冊子「青年と性」キリスト教倫理の視点から」に関する部活解放センターからの意見書について話し合い、同センターの要望を受け、岡本委員長名で、今後は冊子の配布の閉会祈禱をもって終了した。

(小林 光報)

◆西日本豪雨追悼礼拝◆

豪雨1年目を記念して礼拝

2018年7月6日から降り続いた豪雨は、西日本を中心に大きな被害をもたらした。東中国教会はもちろんのこと、西中国教会、そして四国教会にも大小様々な被害がもたらされた。岡山では平島地区、そして真備地区に甚大な被害があり、全国から、また海外からもボランティアに駆け付けてもらい、復興

に助力してもらったことは感謝しかない。多くの人々の祈りと働きに支えられていることを改めて思い起こす。現在、教会としては「まびくら」を拠点として、岡キ災とYMCAせとちと協力しつつ復興の活動にあ

を注いだ中井大介牧師(倉敷教会)が「涙を拭ってくださる方」という題で語った。説教の中で、豪雨当日の切迫した様子、豪雨が一旦落ち着いた後、しかしソフがなかなか整わない中で対応の難しさが語られた。被災した人々の思い、それを遠くから

追悼礼拝には、東中国

(服部 修報)

◆カルト問題連絡会 韓国訪問◆

教団をあげて取り組む宣教課題として

教団をあげて取り組む大切な宣教の課題として、カルト問題の取り組みがある。多くの側面から宣教の側面から、教団の大切な取り組みである。

去る6月13日から14日まで韓国・益山にて、日韓連合異端

異端似而非対策委員会と教団カルト問題連絡会の共催による

翌日は益山にある円仏教の

本山を見学。円仏教はカルト

韓国・益山にて開催



ものである。日本か

(岸 憲秀報)

◆第14回 北日本宣教協議会◆

過去10年の宣教協力体制の検証と今後について

10年の宣教協力体制とその検証、今後の見込みと課題がテーマとされた。

北海教区報告(久世そらち教師)では、教区の宣教を底支えしてきた小規模教会を支援するための宣教協力体制構築の必要性とその

奥羽教区報告(飯田敏勝教師)では、教区設立当初から「教区の教会性」を掲げ、「一

全教会・伝道所が奥羽の全域の伝道を共同の責任とし、第六期教区長期宣教基本方針「希

三教区ともいわれる

の「互いに」「共に」

の教団の宣教にとって

のようになるのではない

(松浦裕介報)



盛岡・奥羽キリスト教センターを会場に

◆教誨師全国研修会◆

キリスト教教誨のはじまりを覚えて

7月1・2日、教団教誨師会研修会・教区代表者が、日本におけるキリスト教教誨のはじまりである北海道において開催された。

また、今回は、矯正施設等見学の見学プログラムも含めたプログラムと題して講演しても



北海道・月形刑務所を訪問

一日目は、札幌教会を会場に、記念講演と教区代表者会を行った。講演は、釧路キリスト福音館牧師・釧路刑務所教誨師の山形浩之氏に「日本における教誨師のはじまり」と題して講演していただいた。中でも、日本におけるキリスト教教誨の創始者ともいえる釧路集治館初代教誨師、原胤昭にスポットを当て、その信仰と教誨師としての働きを学ぶ良き機会となった。樺戸集治館第三代典獄(当時の刑務所長)であった大井上輝前がキリスト者で、「宗教教誨にはキリスト教が必要である」との思いから、原胤昭はじめ、留置者など牧師を宗教教誨に充てたのであるが、やがて権力者たちの圧力もありキリスト教は排除されてしまった。その歴史も影響してからののか、現在、日本基督教団の教誨師が北海道にいないことは残念である。

一日目の講演を受け

らった。中でも、日本におけるキリスト教教誨の創始者ともいえる釧路集治館初代教誨師、原胤昭にスポットを当て、その信仰と教誨師としての働きを学ぶ良き機会となった。樺戸集治館第三代典獄(当時の刑務所長)であった大井上輝前がキリスト者で、「宗教教誨にはキリスト教が必要である」との思いから、原胤昭はじめ、留置者など牧師を宗教教誨に充てたのであるが、やがて権力者たちの圧力もありキリスト教は排除されてしまった。その歴史も影響してからののか、現在、日本基督教団の教誨師が北海道にいないことは残念である。

二日目は、月形刑務所と月形樺戸博物館を見学した。月形町は町をあげて、大井上が行った樺戸集治館での業績(硫黄山採掘と空知炭鉱を始め、囚人たちの死につながる重労働の廃止)を今でも伝え、月形樺戸博物館は町の重要な観光名所となっている。月形刑務所においても、このキリスト教教誨の歴史を大切にしていくと感じた。キリスト教の影響の大きさを知ると同時に、現在も教誨におけるキリスト教へのニーズは高いにもかかわらず、教誨師が少ない現実の問題点も感じた。

主なる神から与えられたいのちの大切さと、悔い改めの心、そして永遠のいのちに生きる歩みというキリスト教教誨の大切さを改めて感じる研修の時であった。

(加藤幹夫報)

予算決算委員会
適切な財務管理のため
宇田 真

予算決算委員会は、予算の執行状況に関する事項と、決算に関する事項を中心に、教団の財務に関する事務を取り扱う委員会です。今期の委員会は、精一杯の削減が行われているとはいえ、現状の形で予算編成が可能なのは2020年度までです。特に、前年度決算は、赤字を計上せざるを得ませんでした。今年度の実行予算も、厳しい財務状況が予想されています。

委員会コラム

事項を確認する作業から始まり、より適切な財務管理に努めたいと思います。

さて、今期委員会は、これまで前年度補正予算と前年度決算を中心に審議してきました。やはり、教団財政縮小の中、事業活動で、当初予定していたような特別なことがあれば、新たな損失を発生させる可能性が高いのが、今の教団の財務体質です。特に、前年度決算は、赤字を計上せざるを得ませんでした。今年度の実行予算も、厳しい財務状況が予想されています。

また、この状況を踏まえ、9月の全国財務委員長会議の主題を「日本基督教団伝道基本方針における機構改定について」としました。今回は、協議を深めるため、従来よりも長い時間を設定しました。そして、この会議が、やはり財務状況が厳しい各教区が、その中でも、特に伝道をどう支えているのかについて話し合い、課題を共有するためのものとなることを願っています。

(予算決算委員長)

事務局報

◆NCC主催・宣教会議◆
「エキキュメニカル運動の過去、現在、未来」をテーマに

7月14・16日に、「NCC(日本キリスト教協議会)主催・宣教会議」が昨年の創立70周年を思い、在日本韓国YMCAと日本キリスト教協議会で行われた。教団より秋山徹幹幹事、石田真一郎宣教幹事、三浦洋人氏(仙台北教会)が出席した。NCCは、30の正加盟と準加盟の教会(教団・団体)で構成される。

初日に70周年記念礼拝を献げ、「エ

は、中村雄介氏が発題した。「平和・核問題」委員会では、飯田瑞穂委員が「チェルノブイリの子どもたち支援」内藤新吾委員長が「原発問題、野副達司委員長が「核兵器問題」の発題をした。

筆者が参加した「奉仕」の分科会では、新約聖書における奉仕(ティアコニア)の意味が確認され、参加者が取り組みを述べた。子ども食堂、野宿者支援給食、常総水害のボランティア、首都直下地震に備える超教派の防災ネットワーク作り等について語られた。礼拝から出発して、隣人への奉仕に生きる様々なキリスト者

坂口チサキ氏(隠退教師)



19年6月16日逝去、92歳。長野県生まれ。65年日本聖書神学校卒業。66年より碓、岡山、屋代、津久見、碓教会を牧会し、94年隠退。遺族は甥・坂口徹さん。

宮川経裕氏(隠退教師)



19年7月5日逝去、87歳。京都府生まれ。57年同志社大学大学院卒業。同年より旭川星光、神戸多聞、洛北、伏見教会を牧会し、13年隠退。遺族は妻・宮川美智子さん。



森田恒一氏(隠退教師)

19年7月7日逝去、102歳。大阪府生まれ。40年関西学院大学神学部卒業。42年より日本メソジスト会(朝鮮)、清津(朝鮮)、新居浜西部、川之江、益田、呉平安、岸和田東光(75年久米田)教会を牧会し、93年隠退。遺族は息・森田虹一さん、菊本雅子氏(無任所教師)

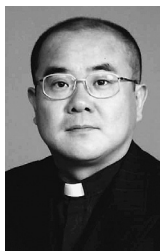


19年7月18日逝去、81歳。東京都生まれ。02年東京神学大学院卒業。同年より千歳船橋教会、練馬二丁目伝道所、浄風教会を牧会。遺族は甥・菊本浩樹さん。



高森 昭氏(無任所教師)

19年3月22日逝去、90歳。旧満州奉天市(現瀋陽)生まれ。59年東京神学大学院卒業。同年より用賀教会を牧会し、明治学院大学、関西学院大学神学部に移る。遺族は妻・高森由美子さん。



小崎清信氏(隠退教師)

19年7月23日逝去、64歳。大阪府生まれ。

聖公会神学院卒業。95年日本聖公会より転入し、96年より島之内、大阪四貴島、島之内、長崎平和記念、広島古市、大阪昭和教会を牧会し、19年隠退。遺族は妻・柳明淑さん。	川嶋章弘、井谷 淳、吉野 結、小松美樹、竹澤潤平	補教師登録 (2019.6.29受允)	高槻日吉台
就(主)小笠原純	辞(代)横野朝彦	辞(主)中西絵津子	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也
就(主)小笠原純	辞(主)小笠原純	辞(主)阿部晋也	辞(主)阿部晋也

《公告》

「教団新報」は、消費税・郵便料金値上げのため、4912号(10月12日発行)より、1部150円に、郵送料共214円に変更いたします。尚、年間購読料は、10月1日以降申込分より下記の通りになります。

◎定価	1部 150円(現行144円)
郵送料共	214円(現行206円)
◎年間購読料	紙代のみ 3,750円(現行3,600円)
郵送料共	5,350円(現行5,150円)
(総幹事 秋山 徹)	

浦賀 就(主)柏木英雄	上岡 就(主)井谷 淳	遺愛女子中学・高校 辞(教)谷地啓子	北星学園女子中学・高校 辞(教)浅野 純
小倉日明辞(代)福島義人	就(代)沖村裕史	就(主)相原 聡	就(主)佐藤真史
山鹿 就(主)相原 聡	就(主)佐藤真史	聖学院 辞(主)東野尚志	難波 實、小崎清信
滝野川 就(主)東野尚志	八街 辞(主)片柳真実	大阪昭和辞(主)小崎清信	横野朝彦 教師退任
向河原 就(主)小松美樹	天草平安辞(代)中村英之	就(主)中森一信	阪根啓子↓谷地 教会離脱
本庄旭辞兼主 柳瀬 聡	就(代)大坪直史	東北学院榴ヶ岡高校	アカベシッパ

◆第36回ヨーロッパ・キリスト者の集い◆

自由と解放を信仰的に問い直す

第36回ヨーロッパ・キリスト者の集いが7月25日から28日までルーマニアのクルジュ・ナポカ市のホテルで開催され、1983年に



東欧解放 30 周年、
ルーマニア・ナポカにおいて開催

デュッセルドルフの日本語教会が近隣の他の二つの日本語教会に呼びかけ、共同で年一度の集いを始めたのがきっかけとなり、それ以降一度も中止することなく開催され、諸教派の信徒たちの参加の輪が広がったとのことである。

今回のテーマは「解放された者として生きる・東欧解放30周年、ルーマニアで」である。東欧圏での開催は初めてである。1989年の東欧共産主義諸国の体制崩壊によって、圧政から解放された諸国民は今年、解放30周年を迎えた。自由と解放の意味と課題を見つ

プロテスタント日本伝道160年記念
第2回全国信徒大会

- ◎日時 2019年10月14日 (月・祝)
13:00～17:00
- ◎場所 日本基督教団 富士見町教会
- ◎内容 第1部 160年記念礼拝
第2部 主題：青年伝道
記念講演、事例紹介
- *「160字メッセージ」募集中
(感謝、信仰の証し、希望…内容は自由)
- ◎詳細問合せ 全国信徒会事務局
TEL・FAX 044-969-2024
URL <http://www.uccjshintokai.org>
Email isaosuzuki2012@krd.biglobe.ne.jp



平岡 万美さん

信仰に支えられて



愛媛県八幡浜市出身。三島真光
教会員。

「わたし、2度自殺旅行をしたんです。信仰の経歴を伺う中で衝撃的な一言だった。14歳の2月、牧師の娘であつたクラスメイトに誘われて単立の教会へ通い始めた。家庭は厳しかったが、教会では優しく迎えられる。それが嬉しかった。

真冬の海に飛び込んでしまふ。しかし沈むことができず、自力で岸に上がり助けを求め、なんとか自宅に戻ることになった。

資格を取るために1年学校へ通い、銀行に就職することができた。順調に進んでいたが、8ヶ月くらい経ってまた幻聴が聞こえるようになった。自分は神さまに見捨てられているような気がして、今度は琵琶湖へ向かい、用意周到いよいよその時、「死んではいけない」との声が心の内に溢れ、思いどまることになった。

高校3年生になり進路を決める際、福祉を学ぶために進学したい思いがあつたが、就職を強く勧める人もおり、また進学を勧める人もいた。そのために悩み、泣きながら眠れない日々が続いた。やがて心身に変調をきたし幻聴が聞こえるようになった。通院や服薬もやめてしまふことになり、ついに九州へ旅をしなが

資格を取るために1年学校へ通い、銀行に就職することができた。順調に進んでいたが、8ヶ月くらい経ってまた幻聴が聞こえるようになった。自分は神さまに見捨てられているような気がして、今度は琵琶湖へ向かい、用意周到いよいよその時、「死んではいけない」との声が心の内に溢れ、思いどまることになった。

現在は三島真光教会に属し、教会の奉仕をいくつか担っている。「純粋な信仰で祈りの素晴らしい方」とのこと。今の願いは、夫と二人の子どもと共に礼拝に出席することである。

◆英国メソジスト教会年会◆

海外ゲストも正議員として
議事に参加

地域の教会で按手を受ける
教職、執事のため派遣式を行う

6月29日から7月4日にかけて、イギリス第二の都市バーミンガム、ヒルトンホテルで開催された英国メソジスト教会の年會に参加した。最初のプログラ

ムは、年會補助書記のルツ・ギームによる「メソジスト教会は1744年以来このような形で年會を行っている」との宣言で始まり、一同起立してチャー

ルズ・ウェスレーの讃美歌を歌いつつ退任する議長と副議長を迎えた。任期は1年で、議長は教職が、副議長は信徒が代々選ばれ、再任されることはない。1844年以來の

伝統で、新議長バーバラ・グラウソン牧師にはジョン・ウェスレーのフィールドバイブルが、新副議長クライブ・マーシュ氏にはチャー

ムは、年會補助書記のルツ・ギームによる「メソジスト教会は1744年以来このような形で年會を行っている」との宣言で始まり、一同起立してチャー

ルズ・ウェスレーの讃美歌を歌いつつ退任する議長と副議長を迎えた。任期は1年で、議長は教職が、副議長は信徒が代々選ばれ、再任されることはない。1844年以來の

美歌を歌いつつ退任する議長と副議長を迎えた。任期は1年で、議長は教職が、副議長は信徒が代々選ばれ、再任されることはない。1844年以來の

伝統で、新議長バーバラ・グラウソン牧師にはジョン・ウェスレーのフィールドバイブルが、新副議長クライブ・マーシュ氏にはチャー

ムは、年會補助書記のルツ・ギームによる「メソジスト教会は1744年以来このような形で年會を行っている」との宣言で始まり、一同起立してチャー

ルズ・ウェスレーの讃美歌を歌いつつ退任する議長と副議長を迎えた。任期は1年で、議長は教職が、副議長は信徒が代々選ばれ、再任されることはない。1844年以來の

伝統で、新議長バーバラ・グラウソン牧師にはジョン・ウェスレーのフィールドバイブルが、新副議長クライブ・マーシュ氏にはチャー

若者を支える仕組み

を支援することができるのだ。

この夏も二泊三日の教会学校キャンプが行われた。ふだんの礼拝に集うことも少ないが、このときばかりは30名近い小学生が参加してゐる。このため

北海教区で長く財務の責任を担ってきた方が、「今の若い人たちはから見れば『年金暮らし』はとても恵まれている。少なくとも数年前まで毎月一定額の現金収入が確実にあるのだから」と言ったことが忘れられない。公務員としてずっと福祉を担当してこられた方だけにシビアな重みがある。

若い世代が将来の生活の安定を見通すことが困難なのは、北海道だけではなく、全国に広がっている。教会は高齢化して年金生活者ばかりだから、若い人にとん

に予算のほかにも献金を募り、教会員から直接支援していただいた。参加者やスタッフの負担を極力軽減するためだ。

（教団総会副議長 久世そらち）

（加藤 誠報）